

株式会社空間デザイン 2015年度環境活動レポート

(対象期間:2015年 9月～2016年8月)



作成日 2016年10月24日

環境方針

<環境理念>

株式会社空間デザインは、建築設計を通じて、環境に配慮したよりよいまちづくりを行うことを事業目的とします。また建築が地球環境に与える影響を認識し、企業活動を通じて地球環境の保全、地球温暖化防止等に取り組むことにより、継続可能な社会の構築を目指します。

1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
3. 水資源の節水
4. 原材料及び事務用品のグリーン購入
5. 環境に配慮した建築設計・監理
6. 事業所周辺の環境活動の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日：2013年5月20日

代表取締役 阿部 弘明

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 空間デザイン
代表取締役 阿部 弘明
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ハ)第19369号

(2) 所在地

本 社 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-29-2-406
東京事務所 〒114-0024東京都北区西ヶ原1丁目52-14-101

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	桑原 宏明	TEL:06-6192-8751
担当者	中尾 まり子	TEL:06-6192-8751

(4) 事業内容

建築設計業及び建築監理業

(5) 事業の規模

売上高	¥128,741,416 円
社員数	16 名
床面積	169 m ²

(本社:110m²+東京事務所59m²)

(6) 事業年度

毎年 9月～8月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:	株式会社 空間デザイン 本社 東京事務所
対象外:	なし
活動:	建築設計業・監理業

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	10,141	10,517	9,681	7,648
廃棄物排出量	キロ	228	385	81	61
一般廃棄物量排出量	キロ	228	385	81	61
総排水量	m ³	55	48	34	80

※電力の二酸化炭素排出量換算値

0.355 kg-CO2/kWh

□環境目標及びその実績

項目		年度	基準値	2015年度	2015年度	2016年度	2017年度
			(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		7,825	7,747	7,064	7,668	7,590
	基準年比	(2014年)		99%	91%	98%	96%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		3,481	3,446	584	3,441	3,377
	基準年比	(2014年)		99%	17%	98%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		11,306	11,193	7,648	11,109	10,967
	基準年比			99.0%	67.6%	98.3%	97.0%
一般廃棄物の削減	kg		84	81	61	219	217
	基準年比	(2014年)		0%	73%	96%	96%
節水	m ³		97	93	80	92	91
	基準年比	(2011年)		96%	82%	95%	94%
グリーン購入	グリーン購入金額/全体購入金額=%		27.4%	30.0%	31.5%	35.0%	45.0%
製品への環境配慮 コピー紙使用量の削減	kg		963	925	871	915	905
	基準年比	(2011年)		96%	90%	98%	92%

産業廃棄物については、排出がゼロのため評価対象としていない。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し■継続	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	×	継続	基準値を見直した為、事務所によりばらつきもあるがおおむね目標値を達成できた。本社は開口部の断熱対策を行ったのも効果が出た。さらなる削減に向けて次年度も具体策(照明器具LED化)を検討する
・照明は、昼休み・残業時不要なものは消灯する	○	継続	
・夜間、休日、不在時パソコン・ディスプレイの主電源を切る	△	継続	
・便所等の照明は使用時のみ点灯する	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し□継続	
・エコドライブ等運転方法の配慮を励行する	○	継続	使用頻度が大幅に減ったためCo2削減に繋がった。次年度は本社も社用車を廃止
・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値を保つように務める	△	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し■継続	
・両面・集約等の機能を活用した印刷を徹底する	○		おおむね目標値を達成できた。今後もチェックを怠らず削減に心がける。
・ミスコピーを減らすため利用後初期設定に戻す	○		
・使用済用紙の裏紙利用を徹底する	○		
・メールやスケジュールソフトによる文書の電子化を推進する	◎		
・打合せ・会議資料準備は、参加者分とする	○		
節水			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し■継続	
・手洗い水量の適正化	○		目標値を達成できた。前年比でも若干は削減できた。今後も大きい削減は難しいが、継続していく。
グリーン購入の推進			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し■継続	
・環境に配慮した物品の購入を行っている(事務用品のグリーン購入比率向上)	◎		発注時のエコ商品チェック推進、今後も継続する。
・コピー用紙等について再生紙を採用する	◎		
製品(サービス)への環境配慮			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し■継続	
コピー用紙は再生紙を使用しており、環境に優しい配慮製品としてカウントする。ミスコピーをしない、無駄なコピーをしないこと	○		環境に優しい再生紙の使用で、ミスコピー、無駄なコピーをしないように教育指導しており、今後も継続する。
社会貢献			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し■継続	
・地域サークルに定期参加することにより地域の環境活動に貢献する。	○		地域行事等は休日開催の為、参加困難なので、今期より近隣の清掃活動を始めた。月一理事務所周辺のゴミを拾って

□法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
建築基準法	製品(サービス)への環境配慮
住宅の品質確保の促進等に関する法律	製品(サービス)への環境配慮
建築物総合環境性能評価システム	製品(サービス)への環境配慮
廃棄物処理法	製品(サービス)への環境配慮
フロン排出抑制法	業務エアコンの簡易点検

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

□代表者による全体の評価と見直し

東京事務所を開設し人員増加もあったが、基準値見直しもした為、全体的に概ね削減できたことは評価できるが、業務の特性上コピー紙使用量削減があまり進まないのので、引き続き社内の環境意識の向上に対する啓蒙は必要である。

□環境活動の紹介

環境設計業務

- ・大阪市中之島公園灯、時計台

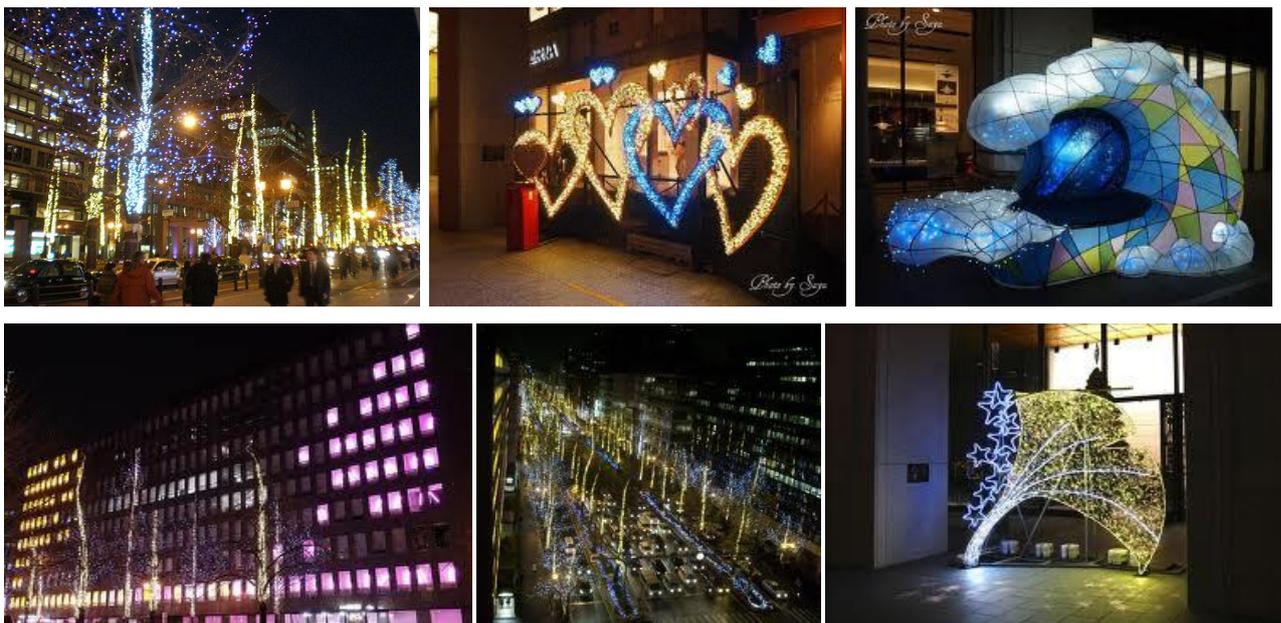


- ・噴水塔の再現改修設計 万博公園「夢の池」
(原作者イサムノグチ)



環境設計業務

・御堂筋イルミネーション事業



・茨木イルミネーション事業



社会貢献

・事務所周辺の清掃活動

